

GABON × JUDO

アフリカから BONJOUR !



皆さん、初めまして。

私は青年海外協力隊員としてアフリカのガボン共和国に来ている金盛友彦と申します。柔道隊員として活動し早7ヶ月、こちらの活動報告や生活状況などガボンの情報を発信していきたいと思えます。

今回は自分の活動である柔道の状況を紹介していきます。

ガボンの柔道人口はおよそ600人、私が活動する首都には9つのクラブがあり現在は一週間ごとに巡回指導をしています。

ガボンの公用語はフランス語です。稽古中はつたない言葉と実演をしながら四苦八苦しつつ指導しています。



・移動打ち込み稽古風景



・稽古終了後のひと時

アフリカで柔道というと想像を絶するかもしれませんが、私は首都生活なので環境はある程度整っています。移動は乗合タクシーでガボン人に挟まれながら道場へ通っています。唯一の悩みは暑さですね。強い日差しと、蒸し暑さは北海道人には堪えませぬ。正直キツイです。道場の場所ですが、学校内や軍隊施設、体育館、水道局の施設内等を使用しており、個人で開いている所はありません。皆こちらの柔道協会に属しており運営もしっかりしています。各道場、畳があったりなかったり、道場が狭かったり、或いは老朽化していたり、柔道着も上着だけや普段着で練習したりと様々ですが、柔道ができる環境にはなっています。あとはやる気を出して稽古に出席して欲しいと思っています。

最近、日本より贈られた畳を各道場に張り替える作業が終わったそうなので、今度まわった時は良い環境で稽古ができる事と思えます。

それでは簡単にガボン柔道の歴史について紹介したいと思います。

・ ガボン柔道の始まり

オリンピック競技としても知られる柔道。1882年に日本で生まれた柔道は世界中に広まり、1952年には国際柔道連盟が発足しました。ガボンの柔道が始まったのは1956年頃と言われています。それからガボン柔道連盟が出来、1979年には国際協力基金を介して日本人柔道家が初めて指導をされていきました。

その後、2010年から青年海外協力隊の柔道派遣が始まり私は2代目として活動しています。ガボンではここ数年、女子のみオリンピックに出場しています。以前は男子も出場していたのですが近年はいなくなりました。選手の強化、育成と柔道の普及にむけてサポートしていく事が今後の自分の役割ですね。



・ ジュニア代表チームのトレーニング



・ 海辺での練習風景

以上、簡単にですがガボン柔道を紹介させて頂きました。次回はガボン人の食生活について紹介していきたいと思っております。では最後に・・・



柔道は世界中と繋がる事ができる最高のコミュニケーションです。同時に日本が誇る文化の一つでもあります。海外に行って道場があれば、あとは道着を持ってやるだけです。興味のある方は是非ガボンへ遊びに来て下さい(^-^)